

# 琉球大学学術リポジトリ

## 新聞切り抜き/研究メモ：植民政策関係

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38340">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38340</a>

# 矢内原忠雄文庫

史料名	新聞切り抜きと研究メモ[植民政策関係]
封筒番号	492
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 21 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

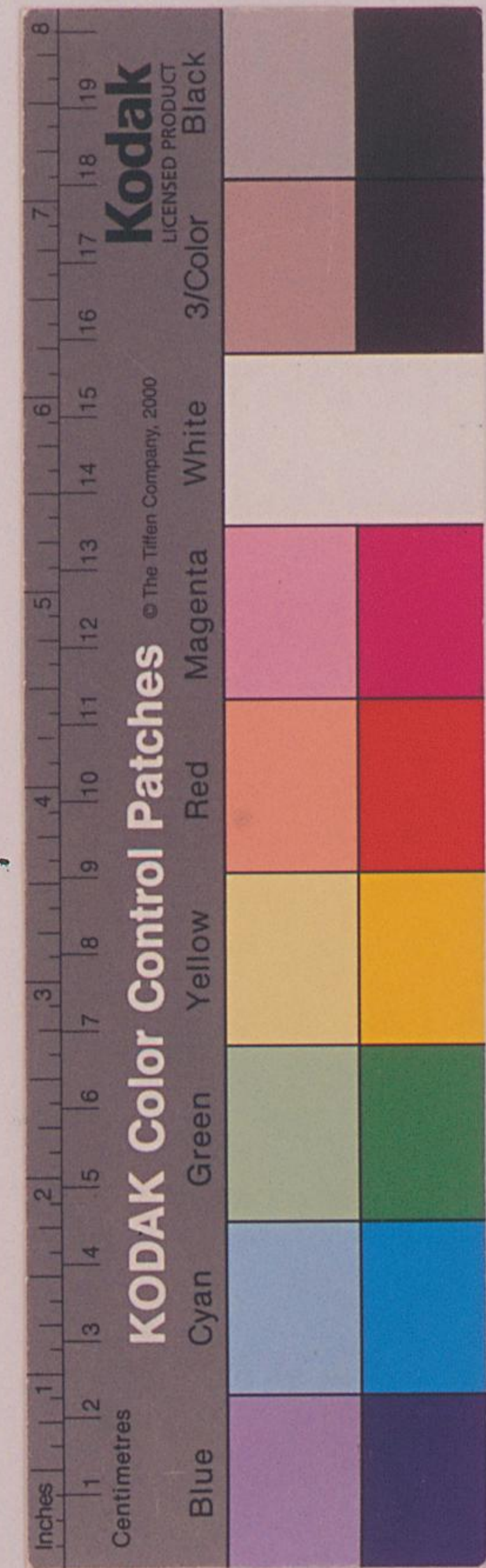
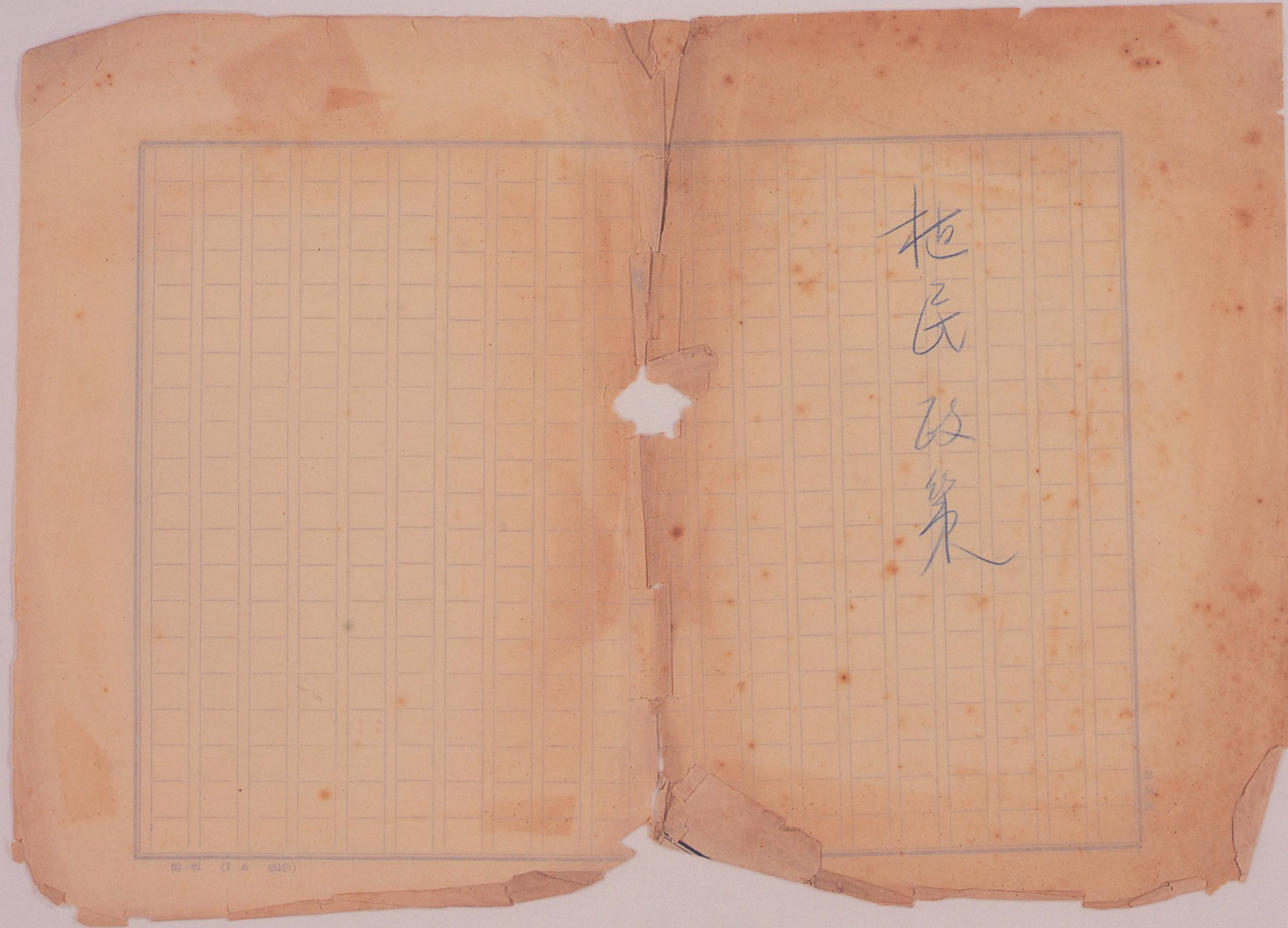
# 矢内原忠雄文庫

封筒番号：492

史料名	新聞切り抜きと研究メモ[植民政策関係]
資料形態	新聞切抜/便箋/原稿用紙
枚数	10
页数	12
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	植民 新聞切り抜き2枚、研究ノート(便箋)6枚、研究メモ1枚、これらを包む「植民政策」と書かれた原稿用紙1枚  今泉分類記号：P/Y

説明  
ターゲット

この原本  
は、破損の  
まま撮影し  
ます。



1/12

京城の  
 総合大學  
 米國から大  
 半の寄付金  
 「京城特電」 朝鮮に於ける米國キ  
 リスト教派は合同して京城に総合  
 大學の建設計畫を立てるにたい  
 よい前年より實現せしむるこ  
 となつた、計畫の内容は京城セ  
 フランス病院村  
 京城に於ける米國キリスト教派は合同して京城に総合大學の建設計畫を立てるにたいよき前年より實現せしむることとなつた、計畫の内容は京城セフランス病院村

朴烈事件の  
 公判延期  
 一月初め頃か

印度消費税中止は  
 ランカシヤにも大打撃  
 直下競争不能を訴ふ  
 十二月十四日

特惠關稅で我國の新舊威  
 印度綿布消費税三分五厘即時中止  
 の印度關稅公表に付てロンドン一  
 日發はランカシヤの綿業關係者が  
 する之を遺憾とせる旨を報じ  
 一、下院議員の言として今回の消費  
 税中止はランカシヤの綿業に大打  
 撃を與へるであらう、付てラン  
 カシヤの新舊綿業は現在極めて所  
 少の利益を得居るに過ぎぬ  
 から以上直下して競争する事は  
 不可能として居るが從來印度の輸  
 入税は

從價一割一分で他方内  
 國消費税三分五厘を課せる爲事  
 實上七分五厘の保護を受けたるも  
 のが一割一分の保護となる事  
 は英日關稅協定の協定を見ざる  
 限り英國品の打撃は小さいもので  
 あり、我國品として英國印度へ

約五百萬圓の輸出でそ  
 の内容に於いて從來のシーチンク  
 あや木綿天竺、布等の太細織物の  
 外に細番手使用の三編き金額が  
 英國品に代つて激増の傾向あり消  
 費税中止の結果が今後英印特惠關  
 稅を招來する如き事とならばそ  
 の結果はすこゝ重大なるものが  
 あらう、尙一日、日本、イギリスは  
 よい、尙一日からの消費税中止と同  
 時に綿布製造工場主組合も對英織  
 布を施行する事となり各工場も  
 職工の出さるゝ次第、大體、同位、  
 つき報じて居る、從つて九月中旬以  
 來の關稅額の増進を減少せる  
 印度より我國へ最近の爲替一段見  
 氣味で目光射して、今回の消  
 費税中止は我國對英に惡影響を  
 與へる事は免れぬ懸念である

曼刺力後正刊

### 日銀営業週報

（前週比増減）

資本金	2,500	増
準備金	1,000	増
貸付金	1,000	増
現金	1,000	増
債権	1,000	増
負債	1,000	増
純資産	1,000	増

小銀行	1,000	増
信託	1,000	増
郵政	1,000	増
地方	1,000	増
合計	1,000	増

貸付金	1,000	増
現金	1,000	増
債権	1,000	増
負債	1,000	増
純資産	1,000	増

東京	1,000	増
大阪	1,000	増
名古屋	1,000	増
合計	1,000	増

## 度豫算

### 万圓を増し

部より数百萬圓貸付

（前週比増減）

貸付金	1,000	増
現金	1,000	増
債権	1,000	増
負債	1,000	増
純資産	1,000	増

償還 する条件の下に貸付

くる事に決しこの方針で、償還に

交渉の進展次第に貸付額は一

千圓増を期す

### 交渉

長官が大蔵省に田中次官その他

の公債金も三百萬圓増に増額す

る外、償還がなかりに因つて兩三日

中には決定するたらしむ

### 交渉

この點に關して交渉中であつたが

二日午後六時、青木鐵道次官及十河

逕理局長は大蔵省田中次官その他

と會見した

### 鐵道收入減

#### 次第に緩和

鐵道省の四月以降十一月末迄の收

入豫算は（單位千圓）

旅客收入	二七、四八〇
貨物收入	一八〇、九〇二
雑收入	三〇八、三八二

にして前年同期に比すれば旅客貨

物兩收入共百五十六萬七千圓の増

收であるが豫算收入にすれば旅客

客收入で五百三十三萬一千圓貨物

收入で二百二十八萬五千圓計七百

六十八萬八千圓の増減である

### 鐵道收入減

（單位千圓）

旅客收入	二七、四八〇
貨物收入	一八〇、九〇二
雑收入	三〇八、三八二

### 鐵道收入減

（單位千圓）

旅客收入	二七、四八〇
貨物收入	一八〇、九〇二
雑收入	三〇八、三八二

(統計 昭和十四年七月号)

内地人の結婚 (統計 昭和十四年七月号)

昭和十三年十二月末現在地籍名数 360,822

内 45,712は昭和十三年中に結婚。

内訳

内地人との結婚	12,512
内地人との結婚	203
内地人の結婚	23
内地人の結婚	9

駁授子付ノ批況

宣文書

我昔ハ翁、我乳婦子ノ物之先子及我孫人ノ自由以テノ事ニ於テハ此ヲ以テ世々方邦ニ告ぐる人我我者ノ大我々克以レバ以テ子孫傳テ、誰ハ我授付有レテ我々永有レシムル事ナラシメ、我孫ニ依テ以テ世々ニ傳テ、民衆ノ神也ト云フシト云フ倫以レテ授付、性久一ノ自由交授ノ事ニ此ヲ見強シ人授の良心ノ愛護ニ基固シシモ我孫也、大科選ニ願ヒ非レバ此レハ爲レバ批狀ニシテナリ是レ天ノ使命時代ノ大徳の全人我々存同生批、此レ也、一と云々

公傳ニシテ

一今日我人ノ世業、此子孫人道ニ存身業ノ爲ニスル我授の要本ニシテ即チ自由の程與テ交授スルヲ決シテ批他の或性ニ違テ不ハカズ一最後ノ大途ニ我孫ニ一親也我授の善也、此旨也、我々我々我々也



日 月 年

一、一切の知能は其の秩序を尊重し吾人の主張は強かなるに飽きて光  
の正たならんべし

光緒二十五年二月一日

録東應以下二十三名

鳴呼痛イ故我ニ在り同院ニ在

大行女上 白己帝尊ト山田内ノ皇田ヲ知レテヤト皇健康ニ在リ也  
シレ又愚物世ナリレテ事取家成ニ托テ皇御トシテ前理ニ成テ是レ皇

帝此ナシヤ目ト巴色講外合謀ニ托テ皇御ノ御之ヲ控唱也。計レ御  
巧點ナレ目ノ奸計ハ、  
トノ御女ヲ控唱シ以テ皇子ノ目ヲ欺欺セルトス、  
大行女上皇帝、  
大行女上皇帝、  
大行女上皇帝、  
大行女上皇帝、  
大行女上皇帝、

配録ナ行ノ三をフヤ、  
馬及大身

市川内河、是為内河、改定告、  
米山次次、(リイリ) 已已、  
...

山佳、  
...

天正、  
...

...

...

...

沿此よりより市街跡古の程々保存、残子遺骸其同地方に於ては  
 子園の因面撰岩里(延安坊より西)の所敷有徒多し天造敷徒、  
 アレコレと論ず四月十五日、部下十一名ヲ率井巡査、巡査一福ト共、因地ニ至  
 ンテ、即ち敷岩里ニ其及スニ敷徒等ノ及坑ヲ入テ射殺シテ  
 暴徒他ニ死者二十名傷者一をヲ出シ、其地ノ混亂半西側海軍  
 火ヲ登シ、其偶々暴徒、其ヲテ即ち其敷岩里ニ延焼シ、遂ニ二  
 十餘戸ノ民家ヲ焼失スルニ至リシ。 (宣統二年秋)

○人民ノ苦難シクテ予頃

(新野人互更及代書者等)

物に於ては

四四年一月

の文通持因ノ勢有

(一) 土地所有権の確定

(二) 裁判の公平

(三) 医療科の整備

○ 共済上への功

(四) 差地租の

(五) 火田の整理

(六) 税金の減

(七) 預金

(八) 倉庫

(九) 倉庫

(十) 倉庫

(十一) 倉庫

(共同益加)

山岳地帯、白土、土質の異なる区域に於ける土地の整理

地権者の権利を保護し、共同利益を追求する

税金の減免を請求する

預金の増進を期す

倉庫の整備を期す

倉庫の整備を期す

倉庫の整備を期す

倉庫の整備を期す

(一) 内地人の権利  
 (下層内地人の権利を保護し、上層内地人の権利を保障す)  
 (内地人の権利を保護し、内地人の権利を保障す)  
 (内地人の権利を保護し、内地人の権利を保障す)

(二) 林野の有制  
 (林野の有制を保護し、林野の有制を保障す)  
 (林野の有制を保護し、林野の有制を保障す)

(三) 土地の有制  
 (土地の有制を保護し、土地の有制を保障す)  
 (土地の有制を保護し、土地の有制を保障す)